

或るラグチュー、あんたのアンテナ???

久しぶりに仕事が早く終わって帰宅したものの、我が家の晩飯は遅いので、未だ準備中の様で有り、シャックに入って、リグに火を入れたら、430のFMから、どこかの局のラグチューが聞こえ、こっそりタヌキを見て見た。途中からでは有るが、面白い話のあらましです。

「この間、話してたアンテナ出来上がったぞ、我ながら綺麗に出来たよ」「ヘエエ～良かったネ、で、どうなの?」
「一応、屋根馬に付けて見たよ、同軸は無線機迄持って来てSWRを測ったら1, 3位だったよ」
「波出して見たかい?」「いや、まだ、SWR測っただけ」「今、そのアンテナから出てるの」
「いつものGPからだよ」「切り替えて見て」「切り替え器付いてないから、チョット時間が掛かるけど」
「いいよ、どっちみち暇だから繋ぎ変えて見ろよ」「ん、じゃチョット待ってて」「了解 しばらくして、
「どうだ、繋ぎ変えたけど」「お～来た来た、でも、さっきより弱いなァ」「アンテナ違う方に向いてるからカナ」
「いくら違うたって、すぐそこだろ、GPからの時、針振り切っていて、今55くらいだぜ」
「指向性がよいんだな」「8エレ1枚だろ、スタックならともかく判るけど、一枚だけでこんなに違うカナ」
「八木の威力だよ、一枚でも指向性は有るから」 タヌキでは有るがこちらでも、試しにアンテナを振って見た、
59オーバー、仕方無いな、こちらは25エレスタック2段の4枚、どっちに振っても59オーバー、話は続く、
「チョット待てよ、暇だから付き合うわ、車でアンテナの向いてる方に移動して聞いて見るから」
仲の良いお友達の様で、しばらくして、「お～い、モービルからだよ、どっちに走れば良いんだ」
「お前んちからだと西の方だな」「了解、アンテナの資料は誰かに貰ったの」
「CQ誌の何月号だか、簡単八木アンテナの制作、って載ってたろ」
「そんなの載ってたっけ、まあ良いけど、家の前で59、今も同じだから、パワー下げないと判らんよ、思い切りパワー
下げてよ」「了解、1wくらいかな、聞こえるかな」
「聞こえてるよ、だいぶ西に走ったけど、今53位、このまま、GPに切り替えて」
「わかったよ、切り替えるから、チョット待って」やがて「GPからだよ」こちら、アンテナを回すが、当然ながら、
59オーバーで変わりはない。どちらに回しても同じ、デカイアンテナでは、お役に立てない。
「何だか、変だなァ、間違っていないか」「間違っていないよ、同軸2本しか無いんだから」
「GPの方が強いよ、1wだろ、57だよ」「なんでだ」 どうやら、お友達の方が、ご存知の様です。
「ご飯できたよ～」の声が掛かるが、こちらは面白い所、飯は後回し。「それ、八木アンテナの働きしてないよ、
車の場所変えて見るわ、アンテナ作る時、何処か変な所無かったか?」
「記事の書いてある通り、寸法もまちがっていないと思うけど、ただ、Uバランの所で2分の1ラムダって何センチ?」
「使う同軸の種類で短縮率変わって来るから」「5D-2Vで計算して作ったけど」「資料の同軸は?」
「5DFBだった、同じ50オームだし、そんなに違わないだろ、SWR測った時も、1, 3だったから」
「でも変だよ、SWRが低ければ良いってもんじゃ無いぞ、今度の休みに見てやるから、資料は鵜呑みにしちゃダメ
だよ、ちゃんと理解してからやらないと」 そうなんです、お相手のお友達は、どうやらアンテナの理屈は判って居る
様ですネ、記事を書く側としては、アンテナを作ろうとする位に人だから、この程度は判って居るだろう、で、書いて居る
当然、試作もしたで有ろうが、こうすればこうなるよ、じゃ無く、出来上がった結果で、こうすれば、こうなった、と言う事
で、記事を書く訳で、ブラックな面も処所に見え隠れする。

お友達が言う様に決して鵜呑みにしないで、理解した上で、イメージ工作すべきです。SWRが低くてもアンテナでは、
無い。お友達が正解。ダミーロードはSWR1, 1程度でも、電波は発射しない。結果、あんたのアンテナは漏れの
多い出来の悪いダミーロードと同じなんです。

筆者も以前、CQ出版からの依頼で特集記事を書いた事が有る。 思えば、ブラックな面もあったカナ? 反省。